

# お便り日和

From Readers

# きままに川柳

テーマ「運動会」

お題「ツキ」

「頑張りたくないじゃなく」

考える人（駄知町）

運動会といえば、応援合戦などの団対抗イベント。毎年夏休み明けには、学校中がお祭りムードになっていました。ただ、私はそういうのがちよつと苦手です。周りが盛り上がれば盛り上がるほど、冷静になってしまふところがあるんです。みんな力を合わせて取り組むことは大切だけれど、気持ちまで押し付けないで……どこかで思っていました。この時期になると、苦しくなる子もいるのでは？とちよつと心配になります。

「遠い田舎」

ふじっこ（泉町）

運動会の日は、いつもより豪華だったお弁当。ごはんがお稲荷さんだったり、からあげがたくさん入っていたり。外で食べるご飯も水筒で飲むお茶も特別おいしく感じました。また、見に来てくれた家族や兄弟と一緒に、お昼ご飯を食べられることもすごくうれしかったのを覚えています。あんなに好きだったお弁当、今では毎日職場で食べています。あのときのわくわく感、まだ味わうことができるだろうかとさみしく思うこの頃です。

「美しき思い出」

ガリガリ君（市外）

幼い頃。運動会では子どもながらに「ハレ」な気分を感じていたものでした。家族で食べたお弁当。あれから30年近くたった今も、おにぎりに巻いた海苔の香りが記憶によみがえります。親が参加する競技を見るのも楽しみでした。そういえばパパ仲間が「ビデオに写った自分の走る姿にがっかりした」と話していました。今は手軽に映像が残せる時代。子どもには、運動会の思い出がパパのがっかり姿にならないように気を付けたいものです。

「こぼれ話」

いつも広報ときをご覧いただきありがとうございます。突然ですが、今回はお便りのスペースに空きができましたので、取材こぼれ話をお届けします。先月取材した科学作品展と発明くふう展。この中に、セミの抜け殻が祭りのみこしを担いだ貯金箱があり、そこに抜け殻の気持ちに詩にして添えた作品がありました。成長過程で役目を終えた抜け殻に「生」を与えたことに、取材した私たちは驚き感動しました。視点を変えること。広報の編集においても欠くことのできない大切なことを、この作品から感じました。

宵闇で願えどつかめぬ月とツキ  
初詣で福引一等ツキ始め  
花火とり雨でやれずに運の尽き  
民の声心に響きツキきたる  
欲しいのは維新の会の御墨ツキ  
幸せのツキを占う種を蒔く

ストレッチマン  
カズエチャン  
こねこ  
足立昌代  
木偶  
佐竹マスお

## 11月1日号の投稿募集

お便りテーマは「我が家のペット」です。家族の一員？家族より大切？な我が家のペットをテーマに皆さんのお便りを200字以内（タイトル別）でお寄せください。

川柳のお題は「目」です。  
(1人一句)

締め切りは10月19日(金)です。

### ■応募・問い合わせ

住所・氏名またはペンネームを明記し、秘書広報課広報広聴係へ。

〒509-5192(住所不要)

☎ 1111(内線185) / FAX 7763

✉ koho@city.toki.lg.jp

※応募多数の場合は、採用されない場合があります。また、お便りについては、採用に当たり、趣旨を変えない程度で表現を変更する場合がありますので、ご了承ください。掲載の際に投稿者へのご連絡は行っていません。